

しぶかわし **農業委員会だより**

回 覧

令和 8 年 1 月

Vol. 26

編集発行
 渋川市農業委員会
 〒377-8501
 群馬県渋川市石原80
 TEL0279-22-2920

新年のごあいさつ



渋川市
 農業委員長
 山本 彰一郎

新年明けましておめでとうござ
 います。農業者の皆様には、常日
 頃から本農業委員会活動の推進に
 あたり、格別の御理解と御協力を
 賜り心より御礼申し上げます。

令和7年4月の委員改選にて、
 委員各位多数の御推挙により、引
 き続き会長に御選任いただきまし
 て、身の引き締まる思いでござい
 ます。

農業を取り巻く情勢は依然とし
 て不安定であります。後継者不足
 や高齢化、それに伴う耕作放棄地
 の増加など、本市においても多くの
 の課題が山積しています。

こうした状況だからこそ、私た
 ちは新たな体制のもと、農業委員
 と農地利用最適化推進委員が一層
 緊密に連携し、これまで以上に、
 農地利用の最適化の推進に尽力し
 てまいる所存です。

農業者の皆様の協力と信頼なく
 して、本市の農業の未来は開けま
 せん。本年も、皆様方の変わらぬ
 御支援と御協力を賜りますようお
 願い申し上げます。

最後に、皆様の御健勝と御多幸
 を祈念いたしまして、年頭の挨拶
 といたします。

粕谷 端吾 さん・めぐみ さん

赤城町津久田



新規就農を目指す方へ！
 無理をせず、体を大切にすることが
 大事です。特に最初の年は無理をし
 てしまうことが多いですが、焦らず着
 実に進んでいくことが成功への鍵とな
 ると思います。お互い頑張りましょう！

会社勤めから心機一転 食卓に彩りを

2023年4月に、神奈川県から赤城町津久田に移
 住した粕谷端吾さん(47)とめぐみさん(44)は、豊か
 な自然に包まれたこの地で、新しい人生を歩み出して
 います。

もともと神奈川県で会社員として働いていた端吾さ
 んは、次第に都市での生活や働き方に疑問を持ち、じ
 め、農業体験を通じて土や作物、人とのつながりに魅
 力を感じ、夫婦で農業の道を歩む決意を固めました。
 理想の農地を求めて各地を巡った末、赤城町津久田
 に出会い、豊かな自然と温かな地域の人々に支えら
 れながら、新たな暮らしをスタートさせました。

農業の世界に飛び込む中で、多くの困難や模索もあ
 りました。農業に関する知識や経験が限られていた
 ため、研修や勉強会に積極的に参加し、先輩農家や支
 援機関、家族・友人の応援を受けながら、一歩ずつ前
 進しました。

また、農業委員会の紹介で多品種少量の作付けに
 ちょうど良い広さの畑を手に入れたり、経営発展事
 業等の補助金も活用したりと、さらなる事業を進め
 ていきました。

農業を始めた当初は、機械もなく手作業での
 作業が多く、天候不順や販路の確保にも苦労
 しました。冬の空つ風でトンネルを何度もはが
 され、断念したこともあります。

そんな日々を乗り越え、現在は、白なす、シ
 シトウ(アマトウ)、オクラ、バターナッツかぼ
 ちやなど多様な野菜を育てています。野菜本来
 の香りや味わいを大切に、土づくりや品種選
 びにも工夫を重ねています。地域の食卓に新た
 な彩りを提供するため、無農薬・無化学肥料栽
 培などにも挑戦したり、インスタグラムなどで
 「タンゴファームブランド」を発信したり、様々
 な取り組みを行っています。
 すべては、自身の野菜を「おいしい」と言っても
 らうために。

森田 祥吾 さん

しふかわで頑張る
生産者を紹介！

就農5年目 ネギを主軸に日々猛進

「土いじりが元々好きで、長男なので自分が農業を継ぐものと思っていた」と語る森田祥吾さん(40)。

今年で就農5年目になりました。親元就農で、父、パート4名、研修生2名の計8名で農業に励んでいます。

高校卒業後に介護福祉の学科に進学し、そのまま福祉関係の仕事に就きました。34歳まで仕事をしながら、農業に従事する祖父母を手伝う忙しい日々を過ごしていました。

北橋町上箱田

そんな折、父が祖父母から農業を継ぎ、経営規模を拡大していく中で、父の身体への負担が年々増しているのを感じ取りました。

その父の姿を目の当たりにした祥吾さんは、「自分が、この先父の後を継ぐことになるのだから、職業としてデカくするなら今動くべきではないか？むしろ、今からでも遅いかもしれない！」と、将来の己の道を考えるようになりました。

このことを相談した奥様からの熱い後押しもあり、「今こそ体力的なアドバンテージを活かせるラストチャンスだ」と考えて、就農に踏み切りました。

そして実際に就農した1年目。ぐんま農業実践学校の野菜専門技術過程を受講して修了し、仕事も、仲間づくりも、勉強も全部行っ、という目まぐるしい日々を乗り切りました。

現在は、夏・冬ネギ、春から秋のズッキーニ、ブロッコリー、キャベツ、お米を作付けしています。ブロッコリーやキャベツを主力に据えていた時期もありましたが、今現在は、毎日食べるほど好きで、とても魅力を感じ、ネギを主軸に考え、力を入れています。

昨今の異常気象による栽培の難しさ、激化する草や虫との闘いなど、様々な困難もあります。しかし、その状況でもくじけず、適正な経営規模で、ネギ主体の高い収益を上げようという意欲と熱意にあふれています。



ネギ大好き！
ネギの魅力を
伝えたい！

市長に「令和8年度 農地等の利用の最適化の推進に関する意見書」を提出しました

1 肥料や飼料、農業資材の高騰に対する支援

・市独自の農業に特化した支援策を。

2 農産物直売所活性化施策の取り組みの推進

・市の魅力を伝える情報発信の場として、農産物直売所の活性化を。

3 遊休農地の発生防止・解消

・より多くの遊休農地について、農地中間管理機構を通じた貸借ができるよう関係機関へ働きかけを。
・早急な生産効率の高い基盤整備を。

4 担い手への農地の集積・集約化

・関係機関との連携を強化し、体制構築を。

5 新規就農者の参入促進

・就農準備金・経営開始資金の活用促進を。
・離農者との経営継承の仕組み整備を。
・学校や地域における農業に係る学習・交流の場の環境づくりを。

6 自治会連合会総会での委員改選に伴う説明会実施

・令和8年度に開催される各地区の自治会連合会総会で、改選に関する説明の機会を。

7 委員研修会の充実

・委員資質向上のため、充実した研修の継続実施を。

8 農業委員会事務局体制の強化

・農地利用などの相談対応のため、事務局体制の強化を。



渋川市の基幹産業である農業が、魅力ある産業として維持及び発展を遂げていくことができるよう、令和7年11月18日、必要な施策の改善等について星名市長へ意見書を提出しました。内容について要点を掲載します。

農地の転用・売買・賃借は

許可が必要です！

自分の農地だから、許可申請や届出をしなくても、売ったり貸したりしても良いのでは……？

と思っている方はいませんか？

農地を売ったり貸したりするときや、農地以外の目的で利用するときは、**農地法に基づき許可や届出の手続きが必要**です。

農地を農地として売ったり貸したりするとき

農地法第3条第1項許可申請

農業委員会
で手続

許可後、申請どおりに利用

「〇〇さんに農地を売りたい」
「農地を宅地にしたい」

などお考えの方は、まずは
農業委員会まで
ご相談ください！

農地を農地以外の目的で利用するとき（農地転用）

農用地区域内

農用地区域外

農政課で確認

除外手続

農政課
で手続

農地転用許可申請

農業委員会
で手続

許可後、計画どおりに利用

無断転用は法令違反です！

農地の適正な管理を

お願いします

農地を管理しないと……

- ・病虫害の発生
- ・雑草の繁茂による**火災**の発生



- ・有害鳥獣の潜入、繁殖
- ・産業廃棄物の**不法投棄**
- ・水路の機能低下
- ・景観の悪化 等



農地は、農業者にとつて重要な財産であるとともに、農業生産、農業経営の基盤です。しかし、近年は、農業従事者の高齢化と後継者不足などの理由で**遊休農地（耕作放棄地）**が増加しています。

農地をいったん荒廃させると、耕作可能な状態に戻すには、多大な労力や時間、資金が必要となってしまいます。

STOP! 耕作放棄地

遊休農地解消

の取り組み

遊休農地解消のために、農業委員会は次のことに取り組んでいます。

農地利用状況調査の実施

法律に基づき、毎年6月から8月頃にかけて、農業委員・農地利用最適化推進委員が協力連携のもと、各担当地域の農地利用の確認、遊休農地の発生防止と早期発見を目的に、農地の利用状況の調査を実施しています。

各地区の委員が、皆さんの農地を見に行くことがありますので、ご承知おきください。

利用意向調査の実施

利用状況調査の結果、全ての遊休農地の所有者に利用意向調査を実施します。

今年度新たに遊休農地となった土地の所有者に対しては、11月から農地利用最適化推進委員が**直接訪問し、利用意向**を聞き取ります。

前年度から継続している遊休農地に対しては、**郵送で今後の利用意向**について確認します。

非農地判定の実施

再生困難な状態まで荒廃した農地については、再度現地調査を行い、非農地判定の手続きを行っています。

農地法において、農地の権利を有する者の責務として、農地の管理が規定されています。
農地を相続したときは、法務局での相続登記とは別に、**農業委員会への届出**が必要です。

農業者年金

農業者年金には、次の要件を満たす方ならどんなにでも加入できます。

- 年間60日以上農業に従事
- 国民年金第1号被保険者
(国民年金保険料納付免除者を除く)
- 60歳未満

※さらに年間60日以上農業に従事する60歳以上65歳未満の国民年金の任意加入者も加入できます。

※詳しくは、お近くの農業委員・農地利用最適化推進委員・事務局まで。

全国農業新聞

農業委員会の系統組織が発行する“農家のための農業専門紙”です。週刊の特長を生かした、わかりやすく読み応えある記事が掲載されています。

- ・毎週金曜日発行(郵送配達)
- ・月900円(送料・税込)

※申込みは、お近くの農業委員、農地利用最適化推進委員まで。



農作業中の事故

に注意!

農作業死亡事故は、全国で年間200件前後も発生しています。

今年度は、渋川市内において**1件**の農作業死亡事故が発生しました。

・ほ場などの危険箇所の確認や補修

作業前に、危険の原因を確認し、予測し、対策しましょう!

・安全な機械操作方法の確認

ベテランでも、慣れや焦りによる事故が発生しています。安全な使い方を再確認しましょう!

・高所からの転落に要注意

高所作業を行う際は、脚立や屋根などからの転落に気をつけましょう!

・農作業の意識向上

地域で、自分の経験した「ヒヤリハット」を共有し合い、安全意識を向上させましょう!



農地の利用でお困りの方は、地区の委員まで!

農作業事故は、他人事ではありません!

農業委員・農地利用最適化推進委員紹介

(任期:令和7年4月1日から令和10年3月31日)

農業委員

NO	地区	氏名
1	渋川	加藤 幸永
2		青木 明雄
3		眞下 繁美
4		高橋 昭彦
5	伊香保	南 忠雄
6	小野上	生方 紀雄
7	子持	斉藤 美保
8		山本 彰一郎
9		飯塚 敬子
10	赤城	角田 日出光
11		都丸 明浩
12		吉川 俊道
13		藤川 正彦
14		齋藤 典子
15	北橘	長岡 和代
16		藤井 守
17	北橘	萩原 大地
18		萩原 泉
19	※	廣瀬 淳

※農業委員会の所掌に属する事項に利害関係を有しない委員(中立委員)

農地利用最適化推進委員

NO	地区	氏名
1	渋川	設楽 秀夫
2		都丸 政義
3		齋藤 光男
4		小池 勤
5		大谷 勉
6	子持	鈴木 孝明
7		登坂 勇
8		北村 正之
9	伊香保	石井 義雄
10		田中 修之
11	小野上	野村 好美
12		佐藤 尚
13	子持	生方 宏明
14		小淵 陽一
15		千明 幸雄
16		池田 輝政
17		埴田 邦彦
18	赤城	飯塚 朝雄
19		飯塚 泰治
20	赤城	関口 隆之
21		狩野 利幸

NO	地区	氏名
22	赤城	石坂 弘巳
23		狩野 寿作
24		山田 真智子
25		茂木 文博
26		石田 定雄
27		須田 恭史
28		藤川 豊
29		荒井 波雄
30		南雲 絹枝
31		新井 明美
32	北橘	池田 洋
33		岩田 廉
34		永井 彰彦
35		諸田 清
36		梅沢 芳夫
37	北橘	井上 裕一
38		黒川 均
39		楯 正人
40		藤木 信二郎
41		今井 兼則
42		森田 吉男

「編集後記」 コメの価格は依然ホットな話題です。この機会に、適正価格とはなにか、今一度立ち止まって考えたいですね。近年は、夏の暑さや冬の寒さが非常に厳しいですが、体調に十分気をつけて作業しましょう。(青木)